

地域協力センター年報

Collaborative Technical Center

No.3 2022.3

2021

独立行政法人 国立高等専門学校機構
大島商船高等専門学校
National Institute of Technology, Oshima College

内容

| | |
|-----------------------------|----|
| 地域協力センター設置目的 | 3 |
| ご挨拶 | 3 |
| 地域協力センターの主な活動 | 4 |
| 地域協力センター運営委員会 | 4 |
| 【技術相談】 | 4 |
| 【生涯学習相談】 | 4 |
| 産官学連携 | 5 |
| 共同研究 | 5 |
| 共同研究報告 | 7 |
| 受託研究 | 10 |
| 寄附金 | 12 |
| 地域生涯学習 | 13 |
| 公開講座 | 13 |
| 出前授業 | 14 |
| 大島商船高等専門学校地域連携交流会事業 | 18 |
| 事業の概要 | 18 |
| 地域連携交流会役員会 | 22 |
| 地域連携交流会総会 | 22 |
| 地域連携交流会講演会（会員発表、特別講演） | 23 |
| ホームページ開設 | 23 |
| ホームページ改善 | 24 |
| 付録 | 25 |
| 科学研究費助成事業 | 25 |
| 令和3年度教育改善充実費（校長裁量経費） | 26 |
| 公募助成金（助成金） | 27 |
| 技術相談申込要領 | 28 |
| センター主要日誌 | 30 |
| センター運営会議の開催状況 | 36 |

* 表紙・裏表紙（デザイン）は、本校電子機械工学科3年 初崎雛希さんに作成いただきました。

地域協力センター設置目的

ご挨拶

大島商船高等専門学校は、商船学科、電子機械工学科、情報工学科の3学科からなる高等教育機関です。研究の活性化によるイノベーションの創出および成果の社会還元、また、産学官連携や地域連携活動の促進、そして公開講座や出前授業による地域人材の育成などを通じて、地域社会の活性化や振興に積極的に貢献するために、平成元年に地域協力センターが設置されました。

平成21年には、地域振興会となる『地域連携交流会』を設けて、企業等からの各種相談に応じること、研究協力や生涯学習の推進を図ることを目的として活動しています。

また、令和2年度から『大島商船高等専門学校における地域貢献活動の目的、基本方針、目標』を新たに以下のように制定しております。

今後一層地元へ貢献できるように全学を挙げて取り組みますので、どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



地域協力センター長
北風裕教

【目的】

大島商船高等専門学校の人材、設備及び本校が有する商船教育や工業教育の研究成果等の知的資源の活用により、地域社会に貢献することを目的とする。

【基本方針】

下記の方針により地域貢献活動を推進する。

1. 地元企業人や一般市民を対象とした公開講座を通じた地域社会への貢献
2. 地域小中学生への商船系・理工系分野の出前授業を通じた地域社会への貢献
3. 地域産業界との共同研究等の連携による地域社会への貢献
4. 地域自治体との連携による地域社会への貢献
5. 行事や催物の支援を通じた地域社会への貢献

【目標】

1. 地域生涯学習の機会や場の提供による地域社会貢献活動を実施する。
2. 地域密着型の共同研究や開発を地域産業界と実施する。
3. 上記1及び2の活動を通じて人材育成活動を実施する。

地域協力センターの主な活動



大島商船高専は、平成16年4月から独立行政法人国立高等専門学校機構大島商船高等専門学校となり、新たな一歩を踏み出しました。本校は、商船学科、電子機械工学科及び情報工学科の3学科からなる高等教育機関です。本校では、教育と研究の機能及び設備を開放し、地域の方々のお手伝いをします。そのために校内には次の委員会等を設置しています。

地域協力センター運営委員会

【技術相談】

商船学、機械工学、電気・電子工学、制御工学、情報工学、計算機工学、自然科学（数学、物理、気象学、化学、体育等）等の分野について、受託研究、共同研究による研究開発、各種試験・分析等の受託、技術指導、情報提供及び各種相談等を担当しています。

【生涯学習相談】

地域の人々のニーズに合った学習機会の充実とその成果を活かすことのできる環境整備を積極的に支援していきます。

産官学連携

共同研究

本校に民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、共通の課題について、本校の教員と共同で研究を進める制度です。また、本校と民間企業等がそれぞれの施設で研究を行う「分担型の共同研究」もあります。なお、税制の優遇措置として、民間企業等が支出した試験研究費の一定割合が法人税(所得税)額から控除されます。

共同研究は派遣型と分担型とに大別されます。

| 区分 | 概略 | 民間機関などが負担する経費 |
|-----|---|--|
| 派遣型 | 民間企業等から研究員を大島商船高等専門学校に派遣し、本校の施設・設備を使用して本校教員と共同で研究を行うもの | 以下の①のみ又は①及び② ① 民間企業等からの研究員派遣に伴う費用 ② 研究に必要とする直接経費 |
| 分担型 | 民間企業等から研究員を派遣せず、大島商船高等専門学校及び民間企業のそれぞれにおいて共通の課題について協力して研究を行うもの | 研究に必要とする直接経費 |

過去の共同研究の受入状況

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|----------|-------|-------|------|------|------|
| 校長 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般科目 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 商船学科 | 4 | 4 | 2 | 1 | 3 |
| 電子機械工学科 | 4 | 6 | 8 | 7 | 7 |
| 情報工学科 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 技術支援センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 10 | 13 | 12 | 9 | 11 |

令和3年度の民間企業等との共同研究の受入状況は、11件（継続含む）です。

| 区分 | 研究内容 | 企業名・団体名 | 研究担当者 | 期間 |
|-----|---|---|-------------------------|--------------|
| 分担型 | 微細気泡発生装置を用いたベンチサイズ船用ディーゼルエンジンの性能評価 | 三井造船特機エンジニアリング株式会社 | 川原 秀夫 | 平成30年度～令和3年度 |
| 分担型 | 非公開 | A社 | 古瀬 宗雄 | 令和元年度～令和3年度 |
| 分担型 | AIによる猪検出を用いた安価捕獲装置の開発と実証 | KYCソリューションズ 有限会社 白木産業株式会社 株式会社ネイチャーピット | 松村 遼 | 令和2年度～令和5年度 |
| 分担型 | PCによるファストタイムシミュレータ開発に関する研究 | 中電技術コンサルタント株式会社 | 岩崎 寛希 | 令和3年度 |
| 分担型 | 非公開 | B社 | 神田 哲典 | 令和3年度 |
| 分担型 | 抵抗素子作製プロセス技術の高度化に関する研究 | アルファ・エレクトロニクス株式会社秋田工場 | 神田 哲典 | 令和3年度 |
| 分担型 | 複数高専-長岡技科大共同研究体制によるアクティブラーニングを活用したヘリウムを使用しない大気圧プラズマを生成するリアクタの設計および製作とそのプラズマ診断 | 長岡技術科学大学 | 中村 翼 | 令和3年度 |
| 分担型 | パルス電場を用いた非接触粉体輸送空気ポンプの開発 (代表：大分工業高等専門学校 機械工学科 稲垣 歩) | 長岡技術科学大学 | 中村 翼 | 令和3年度 |
| 分担型 | Jerkを用いた水中での生態動作の解析 | 近畿大学工業高等専門学校 | 浅川 貴史 | 令和3年度～令和4年度 |
| 分担型 | マイクロプラスチック回収装置（テスト機）回収試験 | 大晃機械工業株式会社 | 中村 泰裕 杉本 昌弘 山口 伸弥 | 令和3年度 |
| 分担型 | ツインカソード溶射機の高性能化と高絶縁膜の開発2 | 日本発条株式会社 | 笹岡 秀紀 古瀬 宗雄 | 令和3年度～令和5年度 |

共同研究報告

| | | |
|---------|---|--------------------|
| 研究題目 | 微細気泡発生装置を用いたベンチサイズ船用ディーゼルエンジンの性能評価 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 商船学科 川原 秀夫 |
| | 企業・団体名 | 三井造船特機エンジニアリング株式会社 |
| 研究成果の概要 | <p>これまでの研究から、我々は船用中速ディーゼル機関を対象にした高粘度の加熱したC重油燃料中に微細気泡を混入した場合の燃費低減効果を明らかにした。今回の研究では、燃料配管中に微細気泡を混入した場合の配管中における圧力挙動について検討した。その結果、燃料中に微細気泡の混入量の違いにより、配管中の燃料循環ポンプ前後の圧力、燃料流量変化が生じ、エンジン運転特性に与える影響を確認した。</p> | |

| | | |
|---------|--------|---------------|
| 研究題目 | 非公開 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 電子機械工学科 古瀬 宗雄 |
| | 企業・団体名 | A社 |
| 研究成果の概要 | 非公開 | |

| | | |
|------|--------------------------|---|
| 研究題目 | AIによる猪検出を用いた安価捕獲装置の開発と実証 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 情報工学科 松村 遼 |
| | 企業・団体名 | KYCソリューションズ有限公司 白木産業株式会社 株式会社ネイチャーピット |
| | 研究成果の概要 | <p>本共同研究は、深層学習による猪検出を用いた捕獲装置の開発・実証を行うものである。捕獲装置は、忌避効果を与えることを目的とした照明、音響機器と箱罾、囲い罾で構成され、照明、音響機器によって罾へと追い込みをかけるものとなる。猪検出や各種機器の制御に安価なエッジデバイスを用いることにより、装置の低コスト化を目指していく。</p> |

| | | |
|---------|--|-----------------|
| 研究題目 | PCによるファストタイムシミュレータ開発に関する研究 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 商船学科 岩崎 寛希 |
| | 企業・団体名 | 中電技術コンサルタント株式会社 |
| 研究成果の概要 | <p>船舶の航行安全検討に際して、操船シミュレータを用いた動的な挙動を基に、操船の安全性や施設改良時の安全性を確認することがある。このシミュレータには、2次元の簡易なファストタイムと3次元のビジュアル操船シミュレータなどがある。本研究では短時間で検証可能で、コスト面で優位性のあるファストタイムシミュレータの活用方法について研究を行い、タブレットやスマートフォンでも稼働するアプリを開発した。</p> | |

| | | |
|---------|--------|---------------|
| 研究題目 | 非公開 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 電子機械工学科 神田 哲典 |
| | 企業・団体名 | B社 |
| 研究成果の概要 | 非公開 | |

| | | |
|---------|--|-----------------------|
| 研究題目 | 抵抗素子作製プロセス技術の高度化に関する研究 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 電子機械工学科 神田 哲典 |
| | 企業・団体名 | アルファ・エレクトロニクス株式会社秋田工場 |
| 研究成果の概要 | <p>本研究では抵抗素子の長期信頼性向上を目的にスパッタ法による無機系保護膜の開発を主に進めている。成膜時のガス種、混合比、圧力、投入パワー等の各種成膜パラメータの最適化により、所望の組成の保護膜を得ることができた。現在、抵抗素子上に保護膜を作製し、信頼性評価の各種試験を行っており、最適膜厚の検討を行っている。</p> | |

| | | |
|---------|--|--------------|
| 研究題目 | 複数高専-長岡技科大共同研究体制によるアクティブラーニングを活用したヘリウムを使用しない大気圧プラズマを生成するリアクタの設計および製作とそのプラズマ診断 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 電子機械工学科 中村 翼 |
| | 企業・団体名 | 長岡技術科学大学 |
| 研究成果の概要 | <p>研究題目にあるテーマをこれまでに構築してきた複数高専-長岡技科大共同研究体制によるアクティブラーニングを活用して実施した。結果として、アルゴンガスを用いた大気圧プラズマを生成することができたが、ヘリウムのように均一に発生させることはできなかった。またヘリウムガスを用いて効率的に大気圧プラズマを押し出すことのできるリアクタを設計・製作した。アクティブラーニングの実績としては、9つの指標を意識したプレゼンテーションを繰り返すことで、自己ならびに他者評価から、それらのスキル向上を達成できた。</p> | |

| | | |
|---------|--|--|
| 研究題目 | パルス電場を用いた非接触粉体輸送空気ポンプの開発 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 電子機械工学科 中村 翼 (代表：大分工業高等専門学校 機械工学科 稲垣 歩) |
| | 企業・団体名 | 長岡技術科学大学 |
| 研究成果の概要 | <p>本研究では、非接触駆動で薬剤の破壊を防ぎ、微量の空気流量で薬剤輸送を実現するためのパルス電場を用いた粉体輸送空気ポンプの開発を目的とし、基礎資料としてのパルス電場を印加した際の流動場計測を、電極間隔を変更し実験した。その結果として、電極間隔によらずイオン風の発生から全路破壊に至るまでの電圧の幅は 3kV 程度で、この間に 0~0.3m/s まで概ね線形に流速が上昇し全路破壊に至ることを明らかにした。</p> | |

| | | |
|---------|---|---------------|
| 研究題目 | Jerk を用いた水中での生態動作の解析 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 電子機械工学科 浅川 貴史 |
| | 企業・団体名 | 近畿大学工業高等専門学校 |
| 研究成果の概要 | <p>現在、本校浅川研究室では人の動作を Jerk（加速度の微分）により解析する研究を進めている。一方、近畿大学工業高等専門学校の荒賀教授、久貝教授らのグループはマグロロボットを用いた水中での生態動作の解析を行なっている。そこで、マグロロボットを本校回転水槽内で遊泳させ、水中の動作速度が緩やかな状況下での生物のエネルギー効率の高い動作手法について Jerk 解析を用いその特徴を明らかにする。</p> | |

| | | |
|---------|--|---------------------------------------|
| 研究題目 | マイクロプラスチック回収装置（テスト機）回収試験 | |
| 研究体制 | 高専担当者 | 大島丸 中村 泰裕 商船学科 杉本 昌弘 商船学科 山口 伸弥 |
| | 企業・団体名 | 大晃機械工業株式会社 |
| 研究成果の概要 | <p>本共同研究では、大晃機械工業株式会社が開発した海洋マイクロプラスチック回収装置を本校練習船大島丸に設置し、本装置の有用性の検証、および周防大島周辺海域におけるマイクロプラスチックの実態について調査を行った。本共同研究の結果を基に、引き続きマイクロプラスチック回収装置の改良とソーラーボート型マイクロプラスチック回収装置の開発を進める。</p> | |

| | | |
|---------|--|--------------------------------|
| 研究題目 | ツインカソード溶射機の高性能化と高絶縁膜の開発 2 | |
| 研究体制 | 高専担当者 | 電子機械工学科 笹岡 秀紀 電子機械工学科 古瀬 宗雄 |
| | 企業・団体名 | 日本発条株式会社 |
| 研究成果の概要 | <p>料粉末をプラズマジェットに沿って導入できるツインカソードプラズマトーチ溶射機では、通常のプラズマ溶射機に比べて熱効率が高く、材料粉末粒径に制限がない利点がある。この特徴を活かし、通常の方法より平均粒径が半分(≒10μm)の材料を用いてアルミナ溶射膜の形成を行った。溶射距離や基板温度の最適化を行った結果、緻密性が大きく向上し、通常の方法の約 2 倍の絶縁耐力(≒50kV/mm)をもつ溶射膜を形成が可能となった。</p> | |

受託研究

民間企業等から特定の研究の委託を受けて、本校の教員が公務として行う研究です。経費は、研究を委託した方に負担していただきます。

過去の受託研究受入状況

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|----------|-------|-------|------|------|------|
| 校長 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般科目 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 商船学科 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 電子機械工学科 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 |
| 情報工学科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 技術支援センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 計 | 2 | 4 | 2 | 1 | 3 |

令和3年度の受託研究の受入状況は、3件（継続含む）です。

| 相手方 | 担当教職員 | 研究課題 |
|--------------|-------|------------------------|
| 科学技術振興機構 | 増山 新二 | 未来社会に必要な革新的水素液化技術 |
| 有限会社長州電気 | 砂田 智裕 | ワンタッチロック機構架台の製品化に向けた開発 |
| 株式会社アサップシステム | 浅川 貴史 | 認知症患者のための徘徊抑止装置に関する研究 |

| | | |
|--------------|---|----------|
| 研究題目 | 未来社会に必要な革新的水素液化技術 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 増山新二 |
| | 企業・団体名 | 科学技術振興機構 |
| 研究の概要 | <p>2017年策定の「水素基本戦略」には、水素コストをガソリンやLNG等と同等程度にする目標が掲げられ、2030年までの行動計画が示されている。この戦略を達成するための技術課題に「水素液化技術」が挙げられる。そこで本プロジェクトが、磁気冷凍技術を進展させた革新的水素液化技術の開発を目指し2018年度からスタートした。その内容は、①液化効率50%以上、液化量100kg/day以上の能力を有する水素液化機、②液化水素ゼロボイルオフを目指した小型・省電力冷凍機の開発である。研究体制は物質・材料研究機構（NIMS）が主体となり、国内諸機関が参画するオールジャパンの布陣となっている。詳細は「NIMS 液体水素」で検索していただきたい。</p> | |

| | | |
|-------|---|----------|
| 研究題目 | ワンタッチロック機構架台の製品化に向けた開発 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 砂田 智裕 |
| | 企業・団体名 | 有限会社長州電気 |
| 研究の概要 | <p>可搬型のアンテナ架台等で採用可能な伸縮性脚部のワンタッチロック機構の製品化に向け、重量の軽減及び製作コストの削減を目指す。また、傾斜地に合わせ脚部を伸縮させ、水平となる位置で架台の各脚を同時にワンタッチ固定できる機構の検討を行う。本機構は脚の内部に設置したスプリングを利用し機械的に固定する仕組みであるため、固定強度が高く、様々な用途での活用が期待できる。</p> | |

| | | |
|-------|---|--------------|
| 研究題目 | 認知症患者のための徘徊抑止装置に関する研究 | |
| 研究体制 | 高専代表者 | 浅川 貴史 |
| | 企業・団体名 | 株式会社アサップシステム |
| 研究の概要 | <p>アサップシステムでは「おうめものづくり等支援事業補助事業」として、自宅や施設内に、徘徊を検知する「表示器」を設置し、認知症患者に取り付ける「検知器」と一定間隔で無線による通信を行うシステムの「認知症患者のための徘徊抑止装置の開発」を進めている。そこで、無線通信に近年注目されている Sub-GHz 帯無線を採用するための技術指導、ならびに福祉工学・ヒューマンインタフェースを考慮したシステム構築の助言を行なった。</p> | |

寄附金

民間企業等や個人投資家からの寄附を受け入れて、本校の研究や教育の充実発展に活用させていただく制度です。「〇〇に対する研究」等研究目的を指定したものも可能です。なお、税制上の優遇措置として国に対する寄附金となり、法人の場合は全額を損金に算入、個人の場合は所得の25%を限度として所得控除ができます。

過去の寄附金受入状況 (※) 公募助成金を除く

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|----------|-------|-------|------|------|------|
| 学校に対して | 6 | 6 | 7 | 5 | 13 |
| 一般科目 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 商船学科 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 電子機械工学科 | 4 | 5 | 4 | 3 | 0 |
| 情報工学科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 技術支援センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 14 | 12 | 11 | 8 | 14 |

教員に対する令和3年度の寄附金の受入状況は、1件（新規）です。

| 相手方 | 担当教職員 | 研究課題 |
|----------------|-------|--|
| 大晃ホールディングス株式会社 | 山口 伸弥 | ソーラーボート型マイクロプラスチック回収装置の開発、マイクロプラスチック回収試験および濃度分布調 |

地域生涯学習

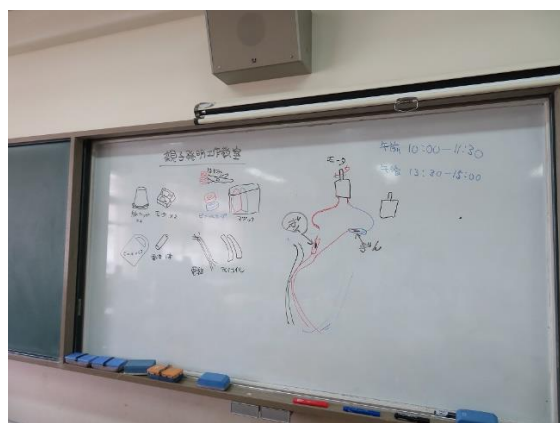
公開講座

毎年7月～9月頃を中心に、様々な分野の公開講座を開催しています。受講者は、講座のテーマ、対象者の年齢、人数などにより制限することがありますが、原則として、どなたでも受講できます。受講料は、講座により異なります。なお、その年度に実施する公開講座のテーマについては、ポスター、パンフレット、自治体広報、本校ホームページ等でお知らせしています。

令和3年度は、6件の公開講座が執り行われました。コロナ禍の影響で例年に比べて件数が少ない状況となりました。

令和3年度に開催した公開講座は以下の通りです。

| 日程 | 公開講座名 | 対象 | 遂行人数 | 講師 |
|--------------------|--------------------------------|------------------|------|----------|
| 8月4日(水) | レーザー加工機でオリジナルチタンプレートを作ろう | 小学生 中学生 | 6人 | 技術支援センター |
| 8月～3月 (全22.5時間) | ハングル語学堂 | 一般 | 6人 | 朴 鍾徳 |
| 8月24日(火) | ドローン操作体験 | 小学生(高学年)、 中学生 | 5人 | 松原 貴史 |
| 8月25日(水) | もの作り体験講座 -電池とモーターで動く- | 小学生(高学年)、 中学生 | 5人 | 岡野内 悟 |
| 9月19日(日) | 水上オートバイで人命救助 (PWCレスキュー)体験講座 | 一般 | 3人 | 幸田 三広 |
| 12月27日(月) | はじめてのプログラミングロボット体験講座 | 小学生(高学年) | 6人 | 北風 裕教 |



公開講座の様子

出前授業

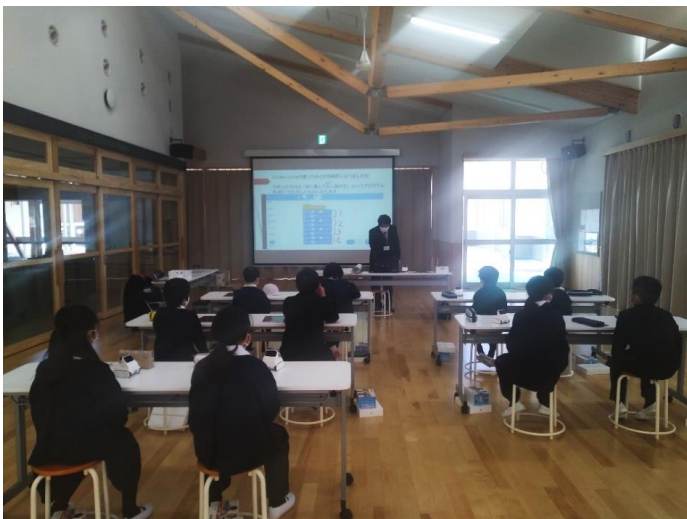
小学校や中学校、保育園などに講師を派遣して出前授業を行っています。

令和3年度は、16件の出前授業が執り行われました。

令和3年度に開催した出前授業は以下の通りです。

| 日程 | 内容 (出前授業先) | 対象 | 遂行人数 | 講師 |
|-----------|--------------------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 6月29日(火) | 防災出前授業 (岩国市立柱野小学校) | 児童 教職員 保護者等 | 12人 6人 10人 | 渡邊 武 松村 遼 |
| 7月16日(金) | 防災出前授業 (周防大島町立浮島小学校) | 児童 教職員 | 8人 5人 | 小林 孝一郎 |
| 7月29日(木) | 簡単モーター&簡単電車をつくろう (岩国市中央公民館) | 児童 | 15人 | 小林 孝一郎 山口 伸弥 |
| 7月30日(金) | みずではしるふねをつくろう (柳美幼稚園) | 児童 教職員 | 16人 4人 | 山口 伸弥 |
| 8月3日(火) | みずではしるふねをつくろう (中保育園) | 児童 教職員 | 15人 3人 | 前畑 航平 山口 伸弥 |
| 8月5日(木) | みずではしるふねをつくろう (羽仁保育園) | 児童 教職員 | 11人 4人 | 前畑 航平 山口 伸弥 |
| 10月14日(木) | 防災出前授業 (宇部市立恩田小学校) | 児童 教職員 | 92人 5人 | 幸田 三広 渡邊 武 |
| 10月19日(火) | 防災出前授業 (田布施町立城南小学校) | 児童 教職員 | 59人 12人 | 渡邊 武 松村 遼 |
| 11月2日(火) | 防災出前授業 (周防大島町立安下庄小学校) | 児童 教職員 | 19人 3人 | 幸田 三広 松村 遼 |
| 11月11日(木) | 防災出前授業 (山口市立仁保中学校) | 児童 教職員 保護者等 | 41人 10人 10人 | 小林 孝一郎 渡邊 武 |
| 11月19日(金) | 防災出前授業 (下松市立下松中学校) | 児童 教職員 | 129人 10人 | 幸田 三広 小林 孝一郎 |

| | | | | |
|-----------|---|-----------|-------------|------------------------|
| 11月29日(月) | 防災出前授業 (長門市立深川中学校) | 児童 教職員 | 103人 10人 | 幸田 三広 |
| 12月21日(火) | はじめてのプログラミングロボット体験講座 (上関町立上関小学校) | 児童 教職員 | 17人 3人 | 北風 裕教 |
| 1月14日(金) | はじめてのプログラミングロボット体験講座 (柳井市伊陸小学校) | 児童 教職員 | 10人 3人 | 北風 裕教 松村 遼 |
| 3月5日(土) | ふねをしろ！ふねをつくろ！ ～みずのちからではしるふね～ (体験型子ども科学館 O-Labo) | 児童 教職員 | 52人 3人 | 山口 伸弥 渡邊 武 山口 康太 |
| 3月31日(木) | みずではしるふねをつくろ (岩国市立東小学校放課後子ども教室) | 児童 教職員 | 24人 5人 | 山口 伸弥 |

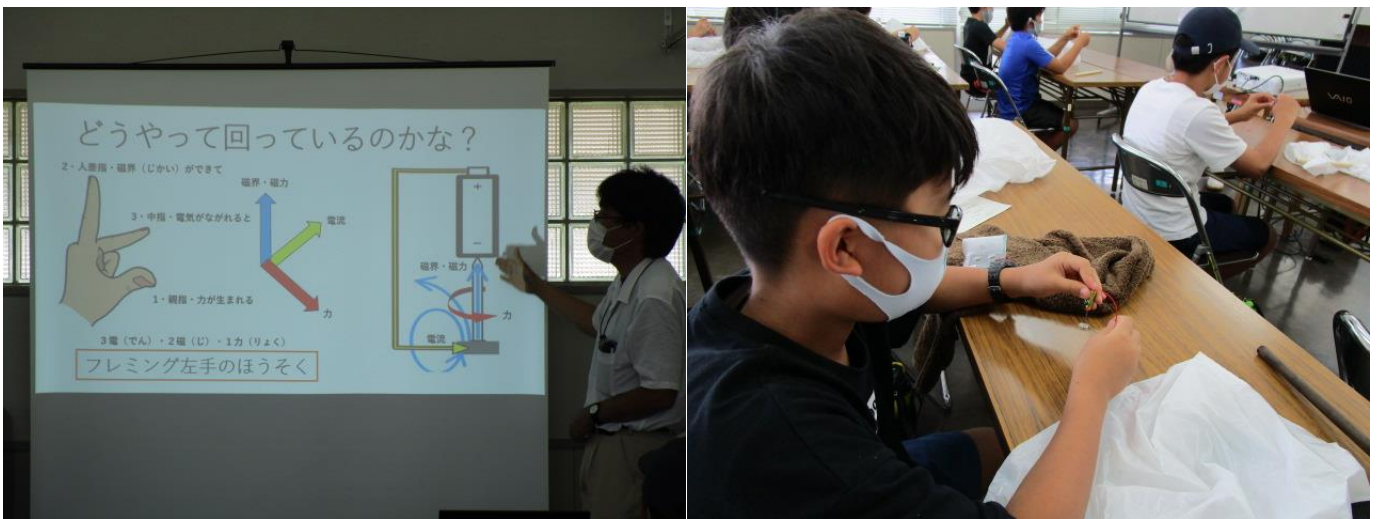


はじめてのプログラミングロボット体験講座の様子 (柳井市伊陸小学校)

出前授業「簡単モーター&簡単電車をつくろう」の実施 山口伸弥

2021年7月29日（木）に岩国市中央公民館で開催された夏休み子どもチャレンジクラブにおいて、「大島商船出前授業～簡単モーター&簡単電車で電気の仕組みを学ぼう～」を本校商船学科准教授小林孝一郎と練習船大島丸一等機関士山口伸弥が行いました。小学4年生～中学生の20名が参加し、モーターやコイルトレインの工作、電気推進船の話聞いて、電気の仕組みについて学ぶことができました。

コイルトレインの工作では、まいた針金の中に電池に磁石をくっつけたものを入れるだけで勝手に走り出し、参加者のみんなはおどろいていました。



簡単モーター&簡単電車をつくろう講座の様子（岩国市中央公民館）

出前授業「みずではしるふねをつくろう」の実施 山口伸弥

2021年7月30日（金）に柳美幼稚園（柳井市）、8月3日（火）に中保育園（周防大島町）、8月5日（木）に羽仁保育園（柳井市）で、出前授業「みずではしるふねをつくろう」を本校商船学科講師前畑と練習船大島丸機関士山口伸弥により開催しました。まず始めに船の種類や大きさの話をし、次に船が浮かぶ仕組みについて粘土を使った実験を行い、園児たちに分かりやすく説明をしました。その後、食品トレーとコップ、ストローなど身近にあるものを使い、水を入れると走り出す船を作ります。最後にプールに浮かばせ、園児たちは作った船を競わせて楽しんでいました。



柳美幼稚園



中保育園



羽仁保育園

大島商船高等専門学校地域連携交流会事業



事業の概要

趣旨・事業内容

大島商船高等専門学校地域連携交流会は、大島商船高専と海事産業界及び地域産業界（地元企業・地場産業）との各種交流を通じて、海事産業・地域産業等の発展に寄与するとともに、大島商船高専の教育研究の振興を図ることを目的として、平成 21 年 10 月に設立されました。

令和 3 年度末の会員数は、法人会員 35 団体、特別会員 12 団体、個人会員 29 名です。法人会員の年会費は一口 10,000 円（一口以上）で、個人会員の年会費は一口 2,000 円（一口以上）、特別会員は無料となっています。

会員企業（法人会員 35 団体）

| | 企業名・団体名 | 所在地 |
|---|----------------|------------------------------------|
| 1 | 株式会社アイ・キャン | 〒740-0022 岩国市山手町 1-17-3 |
| 2 | あさひ製菓株式会社 | 〒742-0021 柳井市柳井 5275 番地 |
| 3 | 株式会社アデリー | 〒742-0021 柳井市柳井 11171 番地 1 |
| 4 | 有限会社岩本商事 | 〒745-0044 周南市千代田町 11-36 |
| 5 | 株式会社インフォコム西日本 | 〒740-0012 岩国市元町 4-12-5 |
| 6 | 株式会社エス・イー・サポート | 〒731-3164 広島県広島市安佐南区沼田町伴 6000-7 |
| 7 | 大島郡水産共励会 | 〒742-2801 山口県大島郡大島町大字浮島 464-11 |

| | | |
|----|-----------------------|--|
| 8 | 大島商船高専同窓会 | 〒742-2193 大島郡周防大島町小松 1091-1 校内 |
| 9 | 有限会社大野屋商店 | 〒742-0021 柳井市柳井 1574-26 |
| 10 | 小田水産 | 〒742-1111 熊毛郡平生町大字佐賀浜田 1607-1 |
| 11 | カワノ工業株式会社 | 〒742-0021 柳井市柳井 1740 番地 1 |
| 12 | 吉祥海運株式会社 | 〒747-0814 防府市三田尻 2-11-1 |
| 13 | 株式会社サンテック | 〒745-0862 周南市江口 2 丁目 1 番 17 号 |
| 14 | Cherie 合同会社 | 〒744-0018 下松市西郷 2 丁目 3-30-313 |
| 15 | 株式会社 SEA WAY (★) | 〒730-0016 広島県広島市中区幟町 3-1 |
| 16 | 株式会社シーゲートコーポレーション (★) | 〒734-0013 広島県広島市南区出島 2 丁目 22 番 37 号 |
| 17 | 新川電機株式会社 西中国支社 | 〒745-0811 周南市五月町 10-45 |
| 18 | 新立電機株式会社 | 〒744-0002 下松市東海岸通り 1 番地 10 |
| 19 | 一般財団法人新日本検定協会 | 〒108-0074 東京都港区高輪 3 丁目 25 番 23 号 京急第 2 ビル |
| 20 | 大晃機械工業株式会社 | 〒742-1598 熊毛郡田布施町大字下田布施 209-1 |
| 21 | 周防大島町商工会 | 〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4485 |
| 22 | 太陽通信株式会社 | 〒742-0032 柳井市古開作 563-6 |
| 23 | 有限会社千鳥 | 〒742-2803 大島郡周防大島町土居 1094-1 |
| 24 | 有限会社長州電気 | 〒742-1101 山口県熊毛郡平生町大字平生町 568-5 |
| 25 | 帝人株式会社 岩国事業所 | 〒740-8511 岩国市日の出町 2-1 |
| 26 | トクヤマ海陸運送株式会社 | 〒745-0025 周南市築港町 2 番 18 号 |
| 27 | 有限会社中谷事務機 | 〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4775 |

| | | |
|----|-------------------------|-------------------------------------|
| 28 | 株式会社中村造船鉄工所 | 〒742-1353 柳井市阿月字積 1020-1 |
| 29 | 株式会社沼田ヤンマー商会 | 〒742-0021 柳井市柳井 150-60 |
| 30 | 株式会社フジマ | 〒742-8555 柳井市柳井 987 |
| 31 | 株式会社藤本コーポレーション | 〒742-0023 柳井市南浜 3 丁目 1-1 |
| 32 | 防予フェリー株式会社 | 〒742-0021 柳井市柳井 134 |
| 33 | 株式会社松下美紀照明設計事務所 (★) | 〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜 3-4-7 |
| 34 | 山口県農業協同組合 周防大島統括本部 | 〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4723 番地 |
| 35 | ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 中国販売部 | 〒731-5145 広島県広島市佐伯区隅の浜 3 丁目 1-31 |

★は令和3年度に新しく会員になった企業・団体です。

特別会員 (12 団体)

| | 企業名・団体名 | 所在地 |
|---|-----------------------------|--|
| 1 | 岩国市 | 〒740-8585 岩国市今津町 1 丁目 14-51 |
| 2 | 上関町 | 〒742-1402 熊毛郡上関町大字長島 503 |
| 3 | 公益財団法人 やまぐち産業振興財団 | 〒753-0077 山口市熊野町 1-10 NPY ビル 10 階 |
| 4 | 西京銀行 大島支店 | 〒742-2301 大島郡周防大島町大字久賀 4341-1 |
| 5 | 周防大島町 | 〒742-2192 大島郡周防大島町大字小松 126-2 |
| 6 | 田布施町 | 〒742-1592 熊毛郡田布施町大字下田布施 3440 番地 1 |
| 7 | 地方独立行政法人 山口県産業技術センター (★) | 〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ 4 丁目 1 番 1 号 |
| 8 | 日本政策金融公庫 岩国支店 | 〒740-0018 岩国市麻里布四丁目 1 番 3 号 ARK ビル II 2 階 |

| | | |
|----|-------------|---------------------------------|
| 9 | 平生町 | 〒742-1195 熊毛郡平生町大字平生町 210-1 |
| 10 | 柳井市 | 〒742-8714 柳井市南町一丁目 10 番 2 号 |
| 11 | 山口銀行 大島支店 | 〒742-2106 大島郡周防大島町大字小松 278-4 |
| 12 | 山口県水産研究センター | 〒753-8501 山口市滝町 1 番 1 号 |

★は令和3年度に新しく会員になった企業・団体です。

個人会員 (29名)

地域連携交流会役員会

地域連携交流会役員会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、当年度の事業計画（案）、予算（案）、総会日程（案）等について検討されます。会員（企業、個人）と大島商船高等専門学校との密接な交流による教育研究の活動を支援するとともに、地域連携事業の円滑な推進を図り、地域社会が発展することを目的に議論が行われます。



地域連携交流会役員会（令和3年度の様子）

地域連携交流会総会

地域連携交流会総会では、前年度の事業報告、決算報告、監査報告が行われ、地域連携交流会役員会で議論された当年度の事業計画（案）、予算（案）についての承認が行われます。事業計画（案）では、1. 情報交換などによる交流促進、2. 共同研究等による地域振興、3. 大島商船高専への支援事業についての詳細な確認が行われます。また、予算（案）においては、目的が達成されるよう配分がされているかの確認が行われます。

令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書類審議とさせていただきます。Web改修案などについて決議が行われました。



川口勉会長代理挨拶（令和元年度の様子）



地域連携交流会総会（令和元年度の様子）

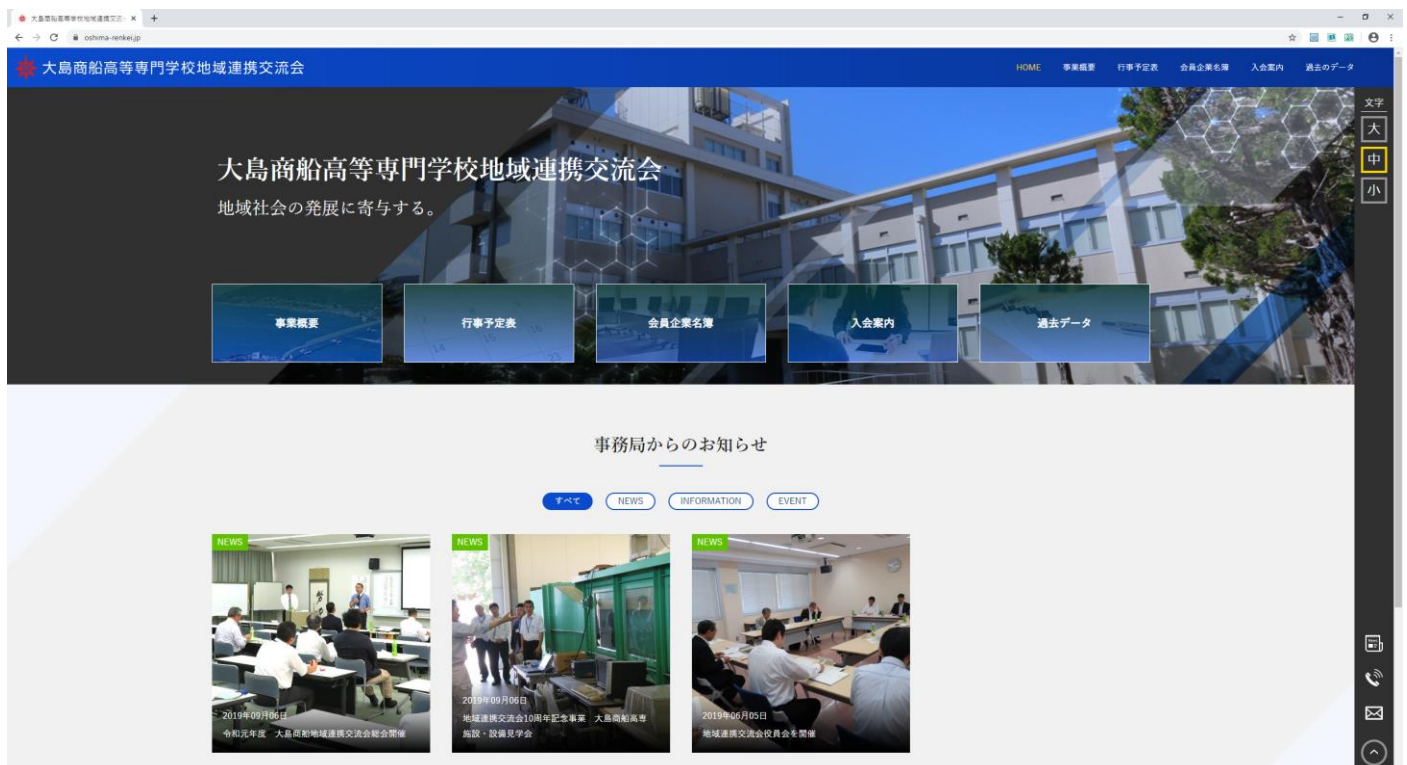
地域連携交流会講演会（会員発表、特別講演）

地域連携交流会総会と同日に、会員発表および特別講演が催されます。会員発表では、会員企業間における連携を強める目的で、企業様の経営理念や企業テーマ、会社説明などが行われます。特別講演では、企業間の連携や企業と高専の連携をより具体化するために、大学やNPO法人から専門の方を招聘して、共同研究や受託研究などについてのメリットや事例紹介を行います。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員発表および特別講演は中止とさせていただきました。

ホームページ開設

令和2年3月16日に大島商船高等専門学校地域連携交流会のWebサイトを新しく開設しました。事務局からのお知らせをはじめ、事業概要、行事予定表、会員企業名簿、入会案内、過去のデータを掲載しております。また、各会員様からのニュースやイベントについてもWebサイトのトップページに掲載することで、地域協力が円滑に行えるようになっています。



Web サイトトップページ



各記事のページ

ホームページ改善

令和2年8月には、大島商船高等専門学校地域連携交流会のWebサイトにおいて、個人会員、一般会員、特別会員の皆様からの記事を容易にアップデートできる仕組みを構築しました。記事はブログ形式で記述することができ、図や写真なども記載することができます。

付録

科学研究費助成事業

概要

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

過去の受入状況（継続を含む件数、分担は含まない）

| | H29 年度 | H30 年度 | R 元年度 | R 2 年度 | R 3 年度 |
|------------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 基盤研究 (A) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基盤研究 (B) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 基盤研究 (C) | 3 | 3 | 3 | 4 | 7 |
| 挑戦的研究 (萌芽) | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 若手研究 (A) | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 若手研究 (B) | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 若手研究 | 0 | 3 | 3 | 4 | 1 |
| 研究活動スタート支援 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 奨励研究 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 計 | 6 | 8 | 8 | 8 | 9 |

令和 3 年度科学研究費助成事業 新規採択状況

| 研究種目 | 研究課題 | 研究代表者 (期間) |
|---------|--|-----------------------------|
| 基盤研究(C) | 女性船員のワーク・ライフ・バランスを実現可能にするための実践的研究 | 石田 依子 (令和 3 年度～令和 6 年度) |
| 基盤研究(C) | 船舶基地局を用いた離島のための災害時安否情報通信網の構築 | 浅川 貴史 (令和 3 年度～令和 5 年度) |
| 基盤研究(C) | 複数の局所スピン軌道トルク励起によるスピン波共振器の創製と高周波デバイスへの展開 | 神田 哲典 (令和 3 年度～令和 5 年度) |
| 基盤研究(C) | 簡易型 AIS 器機を用いた密漁監視システム | 岡村 健史郎 (令和 3 年度～令和 5 年度) |
| 基盤研究(C) | ハイブリッド学習による Laxative-free CT コロノグラフィ検査法の開発 | 橘 理恵 (令和 3 年度～令和 5 年度) |
| 奨励研究 | 飽和蒸気圧を考える洗濯物のハイブリッド干し | 砂田 智裕 (令和 3 年度) |

令和3年度教育改善充実費（校長裁量経費）

概要

機構本部から配分される運営費交付金等は前年度の実績額・配分額、また各部署から提出された「所要額積算調書【一般経費・特別経費】」の内容を検討し、年度の必要性を踏まえた上で予算配分額を決定しています。また、一定額を「校長裁量経費」として確保し、教職員から研究及び教育改善に必要な資金として公募を行い、ヒアリングを実施し決定のうえ所要額を配分しています。施設整備についても、一定額を校長裁量経費として教育設備整備費経費を確保し、学科単位で申請書の提出を求めて、ヒアリングを実施して決定のうえ、所要額を学科に配分されています。

以下が、令和3年度の校長裁量経費の採択状況です。校長裁量経費で採択された研究成果は、期間終了後に教員研究発表会で報告が行われます。

令和3年度校長裁量経費採択状況

| 学科等 | 代表担当者 | プロジェクトの名称 |
|---------|--------|---|
| 商船学科 | 森脇 千春 | 船上計測風速補正を目的とした風向風速データ記録の蓄積 |
| 商船学科 | 松村 哲太 | 往復しゅう動面に表面テクスチャリングを施した場合の潤滑に関する研究 - 往復動摩擦試験機の製作 - |
| 電子機械工学科 | 藤井 雅之 | 第二種電気工事士合格によるキャリア支援プロジェクト |
| 電子機械工学科 | 小林 心 | 木簡削り屑の類似画像検索システムの構築 |
| 一般科目 | 幸田 三広 | 保健体育授業用物品の補充 |
| 一般科目 | 小原 まり子 | オンライン授業の充実 |

公募助成金（助成金）

概要

民間企業等の団体による助成事業に応募して採択された事業です。

過去の採択状況（入金年度を記入しています。）

| | H29 年度 | H30 年度 | R 元年度 | R 2 年度 | R3 年度 |
|----------|--------|--------|-------|--------|-------|
| 一般科目 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 商船学科 | 0 | 3 | 2 | 1 | 4 |
| 電子機械工学科 | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 |
| 情報工学科 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 技術支援センター | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 2 | 7 | 5 | 4 | 6 |

令和 3 年度公募助成金採択状況

| 団体名 | 研究題目 | 助成額 (千円) | 氏名 |
|-----------------------------------|---|-------------|-------|
| 公益財団法人 岩谷直治記念財団 | 廃棄減容化後のポリスチレン粉末燃焼におけるバーナ内の未燃率低減に関する実験的解析 | 1,610 | 川原 秀夫 |
| 公益財団法人 ちゅうでん教育振興財団 | ジェンダー学の視点による商船高専の女性船員育成の実践 | 800 | 石田 依子 |
| 一般財団法人 山縣記念財団 | 船舶関連の海洋汚染防止の法体制と現場の実情に関する調査 | 150 | 千葉 元 |
| 公益財団法人 高橋産業経済研究財団 | 船舶基地局を用いた災害時安否情報通信網のための高齢者対応操作端末に関する研究 | 1,000 | 浅川 貴史 |
| 公益財団法人 工作機械技術振興財団 (代表：鳥取大学) | ターンミーリングの重切削性能の向上-不等リードフライスの利用と無次元安定線図の適用限界 | 12,000 | 杉野 直規 |
| 株式会社リバネス | ソーラーボート型マイクロプラスチック回収装置（海のお掃除ロボット）の開発 | 300 | 山口 伸弥 |

技術相談申込要領

相談内容は次のようなものがあげられます。技術相談とは、企業等における技術的な問題解決を中心とした一時的な相談をいいます。技術相談の申請は、原則として地域協力センターで受付いたします。

(1) 科学技術相談 (2) 地域交流相談 (3) 教育相談 (4) 共同研究相談 (5) 調査研究相談

相談の申込みは、地域協力センター技術相談申込書(様式1)に、相談内容をできるだけ具体的にご記入の上、後記の問い合わせ先にお送りください。ご記入いただきました情報は、技術相談に対する回答などのために入手するもので、あらかじめ同意を得ることなく、この目的以外の利用はいたしません。相談申込所受理後、相談内容に最も適切と思われる教員を選定した上で、相談日時などを連絡させていただきます。しかしながら、申し込まれた相談内容に対して、お答えできる教員が本校に在籍しない場合は、相談に応じられない場合がありますのでご了承ください。

また、大島商船高等専門学校の名称を利用することのみを目的とする相談には応じられません。

技術相談は、初回は原則無料です。2回目以降の相談については、問題解決のために時間や経費を必要とする場合には、技術相談料の徴収や共同研究等として取り扱うことになります。ただし、地元企業との連携状況や地域性を勘案し、必要に応じては2回目以降も無料として取り扱われることもあります。

技術相談料金表

| 相談回数 | 金額 | 備考 |
|-------|--|--|
| 1回目 | 無料 | |
| 2回目以降 | 30,000円/1回 (消費税別) 1回の相談は、2時間で3日分を想定 | 地元企業との連携状況や地域性を勘案し、2回目以降も無料となることがあります。 |

〒742-2193

山口県大島郡周防大島町大字小松1091-1

大島商船高等専門学校総務課企画係 TEL 0820-74-5457 FAX 0820-74-5552

E-mail kikaku@oshima-k.ac.jp URL <https://www.oshima-k.ac.jp>

技術相談申込書 (様式1)

技術相談報告書 (様式2)

別紙 1
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談申込書

地域協力センター長 殿

下記のとおり技術相談を申込みます。

記

| | | |
|-------------|--|---|
| 申 込 者 | 企業名等 | |
| | 役 職 | |
| | 氏 名 | 印 |
| | 住 所 | |
| | 電 話 | |
| | E-mail | |
| 担当教職員の希望 | <input type="checkbox"/> 有 (担当教職員名: 〇〇 〇〇) <input type="checkbox"/> 無 | |
| 相談内容 | 具体的に記入ください。 | |

次の事項について、ご確認の上、同意いただける場合は、しをご記入願います。

| | |
|----------|--|
| 秘 密 保 持 | <input type="checkbox"/> 技術相談の経過において、担当教職員よりノウハウ等の提供を受けた場合、秘密保持契約を締結することに同意する。 ※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。 |
| 知的財産の取扱い | <input type="checkbox"/> 技術相談の経過又は結果、担当教職員の寄与により知的財産が生じた場合、当校へ書面にて通知することに同意する。 ※同意いただけない場合、技術相談を実施することができないことがあります。 |

別紙 2
令和〇〇年〇〇月〇〇日

技術相談報告書

地域協力センター長 殿

(報告者) 所属: 〇〇学科・技術室
役職: _____
氏名: _____ 印

下記のとおり技術相談を行いましたので報告します。

記

| | | |
|--------------------|-------------------------------------|---|
| 技術相談実施日時 | 令和〇〇年〇〇日 (〇) 〇〇: 〇〇 ~ 〇〇: 〇〇 (〇〇時間) | |
| 相 談 者 ※名刺の写し添付可 | 企業名等: | |
| | 役 職: | |
| | 氏 名: | |
| | 連 絡 先: | |
| 相談内容 | | |
| 対 応 | ノウハウ等の提供 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| | 秘密情報の受領 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| | 今後の対応 | <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 無 |
| | 知的財産の創出 | <input type="checkbox"/> 有 ※詳細は別途発明等届のとおり (口発明・口考案・口意匠・口ノウハウ・口その他) <input type="checkbox"/> 今後創出する可能性が有 <input type="checkbox"/> 無 |
| |以下 記入不要..... | |
| 確認欄 | 相 談 料 | <input type="checkbox"/> 有料 (〇〇〇〇 円) <input type="checkbox"/> 無料 |
| | 秘密保持契約 | <input type="checkbox"/> 締結済み <input type="checkbox"/> 後日締結が必要 <input type="checkbox"/> 締結は不要 |
| | 発明等の取扱い | <input type="checkbox"/> 知的財産委員会へ相談 <input type="checkbox"/> 無 |
| | 今後の対応 | <input type="checkbox"/> 共同・受託研究 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 相談継続 <input type="checkbox"/> 無 (完了) |

| | | | | |
|-----------|------|------|------|-----|
| 地域協力センター長 | 総務課長 | 課長補佐 | 企画係長 | 担当者 |
| | | | | |

センター主要日誌

| 月日 | 事項 | 場所等 |
|-------------|-----------------------------|------------------------|
| 4/14 (水) | 第1回地域協力センター運営委員会 | 大島商船高等専門学校 グループ学習室 |
| 4/15 (木) | (公財) 中国地域創造研究センター打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 4/16 (金) | 地域連携・山口県警(サイバーボランティア委嘱状)打合せ | 大島商船高等専門学校 校長室 |
| 4/21 (水) | 第1回研究推進・地域協力・知的財産委員会 | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 4/27 (火) | 地域連携・柳井警察署(サイバーボランティア)打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 5/13 (木) | 共同研究関連(千葉教授)打合せ | 大島商船高等専門学校 千葉教員室 |
| 5/17 (月) | 第2回研究推進・地域協力・知的財産委員会 | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 5/20 (木) | キャリア支援室会議へ参加(地域連携交流会連携関連) | 大島商船高等専門学校 大会議室 |
| 5/24 (月) | 帝人株式会社へ地域連携交流会総会の出演依頼 | 大島商船高等専門学校 北風研究室 |
| 5/28 (金) | 有限会社長州電気と打合せ | 山口県熊毛郡平生町 有限会社長州電気 |
| 6/1 (火) | 第3回研究推進・地域協力・知的財産委員会 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 6/2 (水) | 公開講座・出前授業予算関連打合せ | 大島商船高等専門学校 幸田教員室 |
| 6/8 (火) | 地域連携交流会 役員会 | 大島商船高等専門学校 大会議室 |
| 6/9 (水) | 第2回地域協力センター運営委員会(メール審議) | 大島商船高等専門学校 企画係 |
| 6/10 (木) | 第4回研究推進・地域協力・知的財産委員会 | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 6/14 (月) | キャリア支援室長と打合せ(地域連携交流会連携関連) | 大島商船高等専門学校 前畑教員室 |
| 6/15 (火) | 地域連携・柳井警察署と打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 6/17 (木) | 柳井警察署(サイバー犯罪抑止隊)関連 学生面談 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |

| | | |
|-------------|----------------------------------|---------------------------|
| 6/18 (金) | 柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 6/22 (火) | 柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 6/24 (木) | 海洋教育パイオニアスクール等打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 6/25 (金) | 柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 6/29 (火) | 柳井警察署（サイバー犯罪抑止隊）関連 学生面談 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 6/29 (火) | 出前授業 防災出前授業 | 山口県岩国市 岩国市立柱野小学校 |
| 7/5 (月) | トクヤマ海陸運送株式会社と打合せ | 大島商船高等専門学校 北風教員室（電話対応） |
| 7/9 (月) | キャリア支援室長と打合せ（地域連携交流会連携関連） | 大島商船高等専門学校 前畑教員室 |
| 7/12 (月) | 柳井警察署と打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 7/12 (金) | 出前授業 防災出前授業 | 大島郡周防大島町 周防大島町立浮島小学校 |
| 7/19 (月) | 山口産業技術センターと打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 7/27 (火) | トクヤマ海陸運送株式会社との打合せ | 山口県周南市 トクヤマ海陸運送株式会社 |
| 7/29 (木) | 親子沿岸環境学習（山口きらめき財団）の実施 | 大島商船高等専門学校 実習船（すばる） |
| 7/29 (木) | 出前授業 かんたんモータをつくろう | 山口県岩国市 岩国市中央公民館 |
| 7/30 (金) | 出前授業 みずではしるふねをつくろう | 山口県柳井市 柳美幼稚園 |
| 8/3 (火) | 周防大島町連携推進会議 | 大島郡周防大島町 周防大島町役場 |
| 8/3 (火) | 出前授業 みずではしるふねをつくろう | 大島郡周防大島町 周防大島町役場 |
| 8/4 (水) | キャリア支援室長と打合せ（地域連携交流会連携関連） | 大島商船高等専門学校 前畑教員室 |
| 8/4 (水) | 公開講座 レーザー加工機でオリジナルチタンプレートを作ろう | 大島商船高等専門学校 技術支援センター |
| 8/5 (木) | 出前授業 みずではしるふねをつくろう | 大島郡周防大島町 羽仁保育園 |

| | | |
|-------------|-------------------------------------|---|
| 8/6 (金) | 第3回地域協力センター運営委員会 | 大島商船高等専門学校 グループ学習室 |
| 8/6 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第1回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 8/13 (金) | 地域連携交流会ポスター作成打合せ | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室 |
| 8/18 (水) | 伊陸小学校校長先生来校（本校校長挨拶および打合せ） | 大島商船高等専門学校 校長室 |
| 8/19 (木) | KOSEN EXPO 協力企業（地域連携交流会）へのご挨拶 | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室 |
| 8/19 (木) | 地域連携交流会事前打合せ（岡野内副センター長） | 大島商船高等専門学校 岡野内教員室 |
| 8/23 (月) | 地域連携交流会（企業連絡） | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室 |
| 8/24 (火) | 公開講座 ドローン操作体験 | 大島商船高等専門学校 松原教員室 |
| 8/25 (水) | 公開講座 もの作り体験講座 -電池とモーターで動く- | 大島商船高等専門学校 岡野内教員室 |
| 8/25 (水) | KOSEN EXPO 協力企業（地域連携交流会）への協力依頼 | 柳井市 株式会社アデリー |
| 8/26 (木) | KOSEN EXPO 協力企業（地域連携交流会）への協力依頼 | 柳井市 沼田ヤンマー商会 |
| 8/27 (金) | KOSEN EXPO 協力企業（地域連携交流会）への協力依頼 | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室（岩本商事） |
| 8/27 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第2回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 9/3 (金) | 地域連携交流会 書面審議 | 大島商船高等専門学校 企画係 |
| 9/3 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第3回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 9/9 (木) | 海洋教育パイオニアスクール（伊陸小学校） | 大島商船高等専門学校 実習船（すばる）／練習船（大島丸）／荒天航泊実験室 |
| 9/16 (木) | 株式会社アデリーとの打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 9/19 (日) | 公開講座 水上オートバイで人命救助（PWC レスキュー）体験講座 | 大島商船高等専門学校 浅橋付近 |
| 9/24 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第4回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 10/8 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第5回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |

| | | |
|--------------|------------------------------|--------------------------|
| 10/14 (木) | 出前授業 防災出前授業 | 山口県宇部市 宇部市立恩田小学校 |
| 10/19 (火) | 出前授業 防災出前授業 | 熊毛郡田布施町 田布施町立城南小学校 |
| 10/20 (水) | 第5回研究推進・地域協力・知的財産委員会（メール審議） | 大島商船高等専門学校 企画係 |
| 11/2 (火) | 出前授業 防災出前授業 | 大島郡周防大島町 周防大島町立安下庄小学校 |
| 11/5 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第6回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 11/11 (木) | 出前授業 防災出前授業 | 山口県防府市 山口市立仁保中学校 |
| 11/12 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第7回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 11/15 (月) | 第6回研究推進・地域協力・知的財産委員会 | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 11/17 (水) | 藤本コーポレーションと打合せ | 柳井市 藤本コーポレーション |
| 11/19 (金) | 出前授業 防災出前授業 | 山口県下松市 下松市立下松中学校 |
| 11/26 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第8回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 11/29 (金) | 出前授業 防災出前授業 | 山口県長門市 山口県長門市立深川中学校 |
| 12/10 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第9回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 12/14 (火) | 周防大島町表敬訪問（周防大島町長） | 大島郡周防大島町 大島町役場 |
| 12/21 (火) | 出前授業 はじめてのプログラミングロボット体験講座 | 熊毛郡上関町 上関小学校 |
| 12/22 (水) | 藤本コーポレーションと打合せ | 山口県柳井市 藤本コーポレーション |
| 12/24 (金) | 公開講座 ハングル語学堂（第10回目） | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 12/27 (月) | 公開講座 はじめてのプログラミングロボット体験講座 | 大島商船高等専門学校 北風教員室 |
| 1/7 (金) | 山口県警、柳井警察署との打合せ（Web会議） | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 1/14 (金) | 第7回研究推進・地域協力・知的財産委員会（メール審議） | 大島商船高等専門学校 企画係 |

| | | |
|-------------|---|------------------------|
| 1/14 (金) | 出前授業 はじめてのプログラミングロボット体験講座 | 山口県柳井市 伊陸小学校 |
| 1/20 (木) | インフォコム西日本 I4 特別講演 (オンラインへ変更) | オンラインへ |
| 1/28 (金) | 公開講座 ハングル語学堂 (第 11 回目) | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 2/4 (金) | 公開講座 ハングル語学堂 (第 12 回目) | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 2/7 (月) | 株式会社アデリーと打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 2/22 (火) | 柳井グランドホテルと打合せ | 柳井市 柳井グランドホテル |
| 2/24 (木) | 中国地区テクノセンター長会議 (オンライン) | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 2/25 (金) | 公開講座 ハングル語学堂 (第 13 回目) | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 2/28 (月) | 周防大島町行政改革推進委員会 | 大島郡周防大島町 大島町役場 |
| 3/4 (金) | 公開講座 ハングル語学堂 (第 14 回目) | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 3/5 (土) | ふねをしろ！ふねをつくろう！～みずのちからではしるふね～ (体験型子ども科学館 O-Labo) | 大分県大分市府内町 体験型子供科学 |
| 3/8 (火) | 柳井グランドホテル (オンライン大会会場の無償利用) (藤本コーポレーション×コンピュータ部：起業家甲子園) | 柳井市 柳井グランドホテル |
| 3/13 (日) | 柳井グランドホテル (eSports 講演) においてお礼 | 柳井市 柳井グランドホテル |
| 3/15 (火) | 海洋ごみドローンプロジェクト打合せ 1 回目 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 3/17 (木) | 岩国市中央公民館との打合せ | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 3/22 (火) | 共同研究への依頼 株式会社アデリーとの打合せ | 柳井市 ホシファーム/株式会社アデリー |
| 3/25 (金) | 公開講座 ハングル語学堂 (第 15 回目) | 大島商船高等専門学校 小会議室 |
| 3/28 (月) | 藤本コーポレーション打合せ | 柳井市 藤本コーポレーション |
| 3/28 (月) | 株式会社アイ・キャン取材対応 | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室 |
| 3/28 (月) | NHK サイエンス ZERO 事前打合せ | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室 |

| | | |
|-------------|------------------------------|------------------------|
| 3/29 (火) | 潮流発電プロジェクトの打合せ | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室 |
| 3/30 (水) | e スポーツの打合せ (NASEF) (オンライン会議) | 大島商船高等専門学校 数理計画実験室 |
| 3/30 (水) | 海洋ごみドローンプロジェクト打合せ 2 回目 | 大島商船高等専門学校 地域協力センター |
| 3/31 (木) | みずではしるふねをつくろう | 山口県岩国市立東小学校 |

センター運営会議の開催状況

会議の開催回数及び議題

| 回 | 開催日 | 審議事項等 |
|---|------------------|---|
| 1 | 令和3年 4月14日(水) | <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度地域協力センター運営体制について (2) 令和3年度スケジュールについて (3) 地域連携交流会ホームページについて (4) 地域協力センターリーフレット・年報について <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域協力センター副センター長の選出について (2) 本年度以降の地域協力センター活動計画(案)について (3) 地域連携交流会総会について (4) 今後の予算について (5) 公開講座・出前授業について (6) その他 |
| 2 | 令和3年 6月9日(水) | <p>協議事項(メール審議)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 公開講座の実施・予算配分 (2) 出前授業の実施・予算配分 |
| 3 | 令和3年 8月6日(金) | <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 親子沿岸環境学習実施計画書 ～屋代島をぐるっと回って発見～ (2) 周防大島町との連携推進会議 (3) 就職進学合同説明会への参画について (4) 地域協力センター運営委員の企業訪問報告 <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) KOSEN EXPO (2) 地域連携交流会総会について (3) その他 |

地域協力センター（令和3年度）

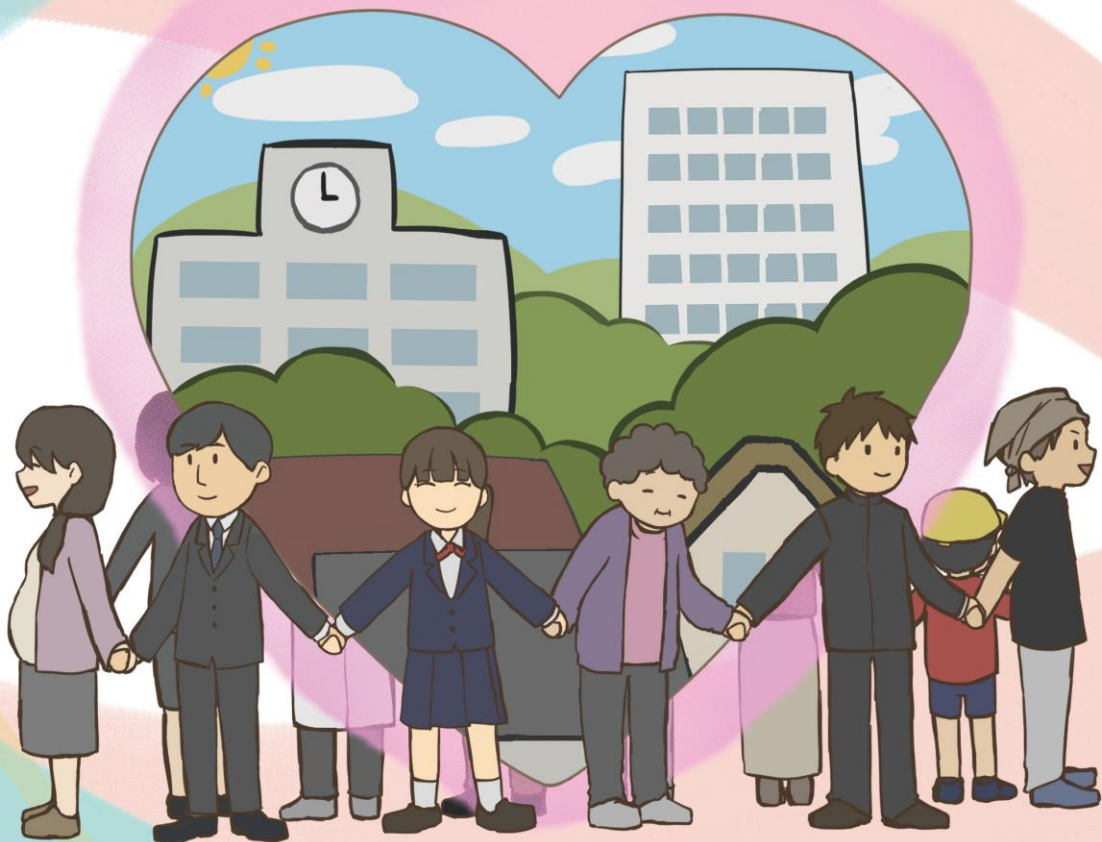
| | |
|--------|---------------|
| センター長 | 北風裕教（情報工学科） |
| 副センター長 | 岡野内悟（電子機械工学科） |
| センター委員 | 杉村佳昭（一般科目） |
| | 末次 竜（一般科目） |
| | 千葉 元（商船学科） |
| | 朴 鍾徳（商船学科） |
| | 増山新二（電子機械工学科） |
| | 松村 遼（情報工学科） |

総務課長 増本浩司

総務課企画係

表紙・裏表紙（絵） 初崎雛希（電子機械工学科3年）

地域協力センター 年報 No.3 2022.3



独立行政法人 国立高等専門学校機構

大島商船高等専門学校

National Institute of Technology, Oshima College